



# 認知症かぞくの会だより



『認知症の上手な接し方～接し方ひとつで良くも悪くもなる～』



平成 31 年 4 月 20 日(土) 14:00～15:30 見立病院にて認知症かぞくの会を開催しました。

今回は、『認知症の上手な接し方～接し方ひとつで良くも悪くもなる～』のタイトルで、精神看護専門看護師より、認知症の病気や本質の対処法のカギとなる関わり方の講義を行いました。

昨今、認知症の言葉を聞く機会が多く、マスコミでも頻回に取り上げられています。老化は避けることはできず、誰もが遭遇する可能性の高い症状であるのも関わらず、認知症状は日常生活や家族内の人間関係に支障をもたらすことが多いため、マイナスイメージばかりが先行しています。不安で戸惑っている大切な家族に対して 全ては認知症が悪いと割りきり、人格を尊重し、温かく接しながら自信を取り戻して頂くとともに、相手のペースに合わせてながらゆっくりと構えて介護することが大切であるとお伝えいたしました。



参加された方からは、「もっと早く聞きたかった。対処の仕方が理解できました。これからは参考にしていきたい」と多数のご意見を頂きました。次回は令和元年 5 月 18 日(土) 14:00～15:30 見立病院にて、薬剤師より『アルコール性認知症とアルコール依存症』のお話を行う予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

アルコール性認知症とアルコール依存症』のお話を行う予定です。皆様のご参加をお待ちしております。